

# 動物愛護週間 9月20日～26日



責任を持ってしっかりと！



飼い主にとってペットはかわいい存在ですが、「動物はかわいいけれど苦手…」という方もいらっしゃいます。

ペットはただ可愛がるだけでなく、他人に迷惑をかけないように、しつけや訓練をし、飼い主がしっかりと責任をもって飼いましょう。また、地域社会のルールやマナーを守ることで、地域に受け入れられるよう心がけましょう！

## こんなことしていませんか？(犬の場合)

### 1 放し飼い

犬の放し飼いは、県条例により禁止されています。かわいいペットの生態や習性を損なわない運動範囲を確保しながら、「つなぐ、フェンスで囲う、または室内飼育」などの方法で飼いましょう。

また、散歩をするときは、必ずリードなどでつなぎましょう。

### 2 フン尿などの放置

フン尿を放置すると、臭いの原因など、地域の衛生環境を損ないます。オシッコをしたときは、すぐに水で流し、フンのご自宅に持ち帰りましょう。



## これも考えよう！(猫の場合)

### 1 不妊去勢手術

繁殖を望まない場合は不妊去勢手術をしましょう。生殖器系の病気を予防できるだけでなく、発情期の鳴き声やオシッコの臭いも緩和することができます。



### 2 室内飼い

室内で飼うことで近隣へのフン尿被害やいたずらを防ぎ、猫同士の病気感染や交通事故などから守ることができます。

## 「地域猫」って何だろう？

「地域猫」とは、野良猫による問題の解決や不幸な猫を増やさないことを目的に、住民主導の下で、適正に飼養・管理されている猫のことです。

地域住民やボランティアが「不妊去勢手術」を施した上で「エサやフン尿の管理」などをしていますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## ペットのために 備えよう！

大規模な災害が発生すると、人だけでなくペットも避難することになり、避難所では人とペットは離れて生活することになります。また、さまざまな人と生活するため、普段よりも周りに配慮することが求められてきます。

大地震の発生が予測される中、私たちは非常食や持ち出し品などを備えることが必要ですが、飼い主の皆さんはペットのことも考え、日ごろから備えることをしましょう！

### ペット用の食料などを備蓄しておく。

→災害時にはペット用の食料が確実に手に入るとは限りません。食べ慣れているペットフードなどを備蓄しておきましょう。

### ケージに入って過ごす練習をする。

→避難所では、ケージ内で過ごすこととなりますので、普段からケージ内での生活に慣れさせておきましょう。

### 犬は鑑札、猫などは名札をつける。

→はぐれてしまったペットが保護された際に、飼い主の元へ帰れるように、普段から鑑札や名札を着用しましょう。また、近年ではマイクロチップを埋め込む方法もあります。

### 人に慣れるための練習をする。

→避難所にはたくさんの方が避難してきます。普段からさまざまな人と会わせることで人に慣れ、ペットの避難時のストレス軽減につなげましょう。

問 生活環境課生活環境班